

令和元年度第1回 忠岡町都市計画審議会 議事録

開催日時 令和2年3月3日(火) 11:30~12:00

開催場所 忠岡町シビックセンター本館3階 研修室1

出席者 【委員】

○学識経験者

下村委員、佐久間委員

○町議会委員

和田委員、是枝委員、松井委員、前川委員、河野委員

○住民委員

武津委員、西尾委員

○忠岡町長 和田吉衛

【事務局】

産業まちづくり部 藤田部長

〃 建設課 谷野課長、坂本主幹、高木主事

傍聴者数 0名

配布資料

- ・会議次第
- ・資料
 1. 忠岡町都市計画マスタープラン改定及び立地適正化計画について
 2. 第1回ワークショップ結果
 3. 第2回ワークショップ結果
- ・忠岡町都市計画審議会委員名簿

会議次第

1. 開 会
2. 町長挨拶
3. 委嘱状交付式
4. 議 事
5. 閉 会

議 事 【報告案件】

- ・報告第1号 都市計画に関する基本的な方針の見直しについて
- ・報告第2号 立地適正化計画の策定について

会 議 概 要

1. 開 会

2. 町長挨拶

3. 議 事

- ・報告第1号 都市計画に関する基本的な方針の見直しについて
- ・報告第2号 立地適正化計画の策定について

【下村会長】

都市計画審議会に諮る案を検討する場として、「忠岡町都市計画マスタープラン及び立地適正化計画策定委員会」の位置付けを認める。

【是枝委員】

立地適正化計画において、誘導する区域は1カ所か。

【事務局】

他市においては、複数設定している例もある。ただし、それらの自治体では山間等により物理的に複数の拠点に分断されているものが多い。本町の場合、現状全域的に居住が見られ、そこに都市機能誘導区域、居住誘導区域のような新たな線引きを当てはめるのはどうかと考える部分は有るが、本計画は20年後の人口約13,000人という状況を想定し、あらかじめ緩やかな線を引いておくという考え方となっている。

【下村会長】

忠岡町は全国で一番小さな町である。その中で駅勢圏や安全性などを考慮して、どのように都市機能誘導区域を定めるか。その周りの居住誘導区域をどのように設定していくか、客観的に考えて検討していく必要がある。

1km圏域が小学校区域、コミュニティの最小圏域である。この圏域が都市計画において重要な考え方である。

【是枝委員】

都市機能誘導区域をつなぐための地域の、公共交通が重要になってくる。とあるが、忠岡町にはそれが無い、他都市の拠点との連結について、どのように考えていくのか。

【下村会長】

近隣市との連携は重要であり、南大阪では計画している所が多い。よく見られるのは、中心は一つで比較的小規模なサブの拠点を伴う構造である。中心と同じ機能を小さなところに作ることは、予算的に難しい事を考えていく必要がある。

【事務局】

広域的なまちづくりとしては、泉北地域における鉄道沿線のまちづくりとして、市町村を主体に関連国・府機関や公共交通事業者を交えて検討をしている。近隣市にどのような都市機能があるのか等、広域的な視野で計画の策定に取り組みたい。

【前川委員】

計画の策定にあたり、住民意向を把握するために、ワークショップ、アンケート調査はどのように実施したか。

【事務局】

アンケート調査は、企画部局において現在策定作業をしている「総合計画」、「総合戦略」において実施したアンケート調査の中で、都市計画の観点からの質問項目を抽出し、意向を把握している。なお、住民ワークショップについては計画策定期間中合計 4 回の開催を予定しており、第 1 回及び第 2 回は実施済みである。実施回の概要は配布資料のとおり。

【河野委員】

策定スケジュールで、次回の審議会が 10 月となっている。その間、参考になる検討資料が出てくれば、委員に配布してもらえるか。

【事務局】

策定スケジュールにおける審議会等の実施時期は、現状の案であり、進捗により多少前後する可能性がある。次回審議会は概ね 10 月としているが、審議会の開催に先立ち「策定委員会」を開催し、検討内容の報告や、それに対する意見を伺う予定としている。

【松井委員】

ワークショップ参加者の意見は、本件だけでなく、まちづくりに重要な意見が多いので、参加させていただきたい。

【事務局】

ワークショップは、住民が意見を出し合う場と位置付けています、傍聴は可能なので、ぜひ聞いていただきたい。

【下村会長】

都市計画に関するワークショップを開催したのは画期的であると思う。これは10年後、20年後の忠岡町にとって、とても重要なことであると思う。

以上